山是也、

〔釋日本紀七　述義〕伊豫國風土記曰、伊豫郡自二郡家一以東北在二天山一、所名二天山一由者、倭在二天加具山一、自レ天天降時二分、而以二片端者天一降於倭國、以二片端者天一降於此上一、因謂二天山一本也、

〔萬葉集七　雜歌〕詠レ天

天海丹（アノウニ）雲之（クモノ）波立（ナミタチ）、月船（ツキノフネ）、星之（ホシノ）林丹（ハヤシニ）、榜隱（コギカクル）所見（ミユ）、

〔日本紀略一　醍醐〕昌泰元年六月三日辛丑、無雲天暗、不レ知二人面一、時人見レ之、莫レ不二奇怪一、

〔萬寶鄙事記六　占天氣〕天色黃なるは風、白くうすきは風雨、天氣卑く下りてくらきは、三日の內に雨ふる、西北赤くして氣きよきは明日大晴、朝白氣あるひは黑氣雲のごとくしてうるほひあるは雨、天高く氣白きは、風雨すくなし、天低く氣くらきは、三日雨なり、

名稱

方角

方角トハ四方四角ノ稱ニシテ、四方ハ東、西、南、北ヲ云ヒ、四角ハ艮、巽、坤、乾ヲ云フ、

〔書言字考節用集一　乾坤〕方角（ハウガク）四方四隅之謂

〔拾芥抄下末　方角〕五方　東木位　西金位　南火位　北水位　中央土位

八方　震東　巽辰巳　離南　坤未申　兌西　乾戌亥　坎北　艮丑寅

〔本朝月令六月〕朔日內膳司供二忌火御飯一事

高橋氏文云、挂畏卷向日代宮御宇大足彥忍代別天皇五十三年、○中略冬十月到二于上總國安房浮島宮一、爾時磐鹿六獦命從レ駕仕奉矣、○中略又此行事者、大伴立雙天應二仕奉一物、止在止勅天、日竪、日橫、陰面、背面乃諸國人乎割殺天、大伴部止號天、賜二於磐鹿六獦命一、